

事業所名

希望の丘豊橋（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

2024年

10月

8日

法人（事業所）理念		子どもたちは遊びを通してたくさんの方の力を学んでいきます。子どもたちの力を信じて時には見守り、時には仲立ちをし、一人ひとりの気持ちや発達に寄り添う支援を大切にしています。感性を育てることに力を入れ、子どもだけでなく職員も心が動く経験をたくさん持つように意識しています。子どもも保護者も職員も『共に育つ』が法人の理念です。							
支援方針		小集団を活かし、職員やお友達との実際の関わりを通して、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルの向上を目指します。職員が設定する活動もありますが、子どもたちが主体的に遊びを選び、挑戦できる環境を大切にしています。苦手なことの底上げより、一人ひとりの得意を見つけ、伸ばして自信を育てる支援をしています。							
営業時間		放課後	14時	00分	17時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
		学休日	9時	00分	15時	00分			
		土曜日	9時	00分	13時	00分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に健康チェック（体温測定や視診、保護者からの聞き取り）を行います。自分でも体調の変化に気付けるように、その時の体調を代弁して本人へ伝え返すこともしていきます。 ・室内、戸外ともにのびのびと過ごせる環境にあります。施設裏にある希望の森や少し歩いた先にある農園に出向き、自然に触れながら身体をたくさん使って遊びます。 ・買い物や食育などを通して、将来につながる生活スキルが身につけられるようにします。使ったものを片付けることも、自分の身辺を整えるだけでなくみんなが心地よく過ごしていく為に必要なスキルになると考え、その子に合った片付け方法を提案していきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノを用いて“さくら・さくらんぼ”のリズム遊びを定期的に行っています。リズム遊びをしている子どもたちの様子から個々の発達を知り、どのリズム遊びを取り入れるかをその都度考え発達を促していきます。 ・室内に様々な器具を設置してサーキット遊びを行います。身体全体を動かすだけでなく、足裏を刺激するシートも並べます。ゲーム性を加えることでやる気と楽しさを引き出します。 ・それぞれの感覚特性に寄り添い安心して過ごすことができるよう、全体ではなく個々に合わせた環境調整等を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材を用いて様々な感触あそびをします。準備段階から一緒に作業をすることで素材の変化に気付き、その発見を周囲に伝えたり共感したりするわくわくも感じられるようにします。（小麦粉粘土、パン粉粘土、土粘土、寒天、片栗粉、スライム、氷絵の具、テクスチャアートなど） ・空き箱などの廃材やブロックなどを使い、イメージしたものを形にする創作活動を行います。作って終わりではなく、工夫した部分などを伝えたり見てもらえる機会も作ります。 ・屋外遊戯場や施設裏側にある森に積極的に出向き、自然に触れることで感性や想像力を刺激したり探索活動を通して知的好奇心を高めます。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との遊びや活動を通して『見て！』『伝えたい！』などの気持ちを引き出し、共同注意などコミュニケーションの向上に必要な力を育てます。 ・インタビューごっこで順番を待つ、質問や質問に対する答えを考える、伝えるなどの力を育てつつ、自分の話を聞いてもらう嬉しさや相手の話を理解・共感しようとする思いやりにもつながります。 ・言語だけでなく文字や描画など、その子にとって得意な方法で気持ちやイメージを表出できるようにします。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、自分のしたいことを主張したり相手の思いを聞いたりする経験をたくさん持ちます。自分以外の人の様々な思いを知り選択肢が広がる楽しさを感じながら、時には葛藤をすることで気持ちのコントロール方法を学んでいきます。 ・自分の好きなことだけをして過ごすのではなく周りのお友達と一緒に活動に取り組む機会も作ることで、協力する面白さを感じたり達成感が共有できるようにします。職員はその為のきっかけとして、子どもたちの興味関心を引き出し『やってみよう！』と主体的に参加したくなるような環境の工夫や活動の設定を行っていきます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児に関わらず、きょうだい児に対しての相談も随時行っています。送迎の際や日時を設けての相談など、保護者のご希望に沿って対応いたします。 ・土曜日を中心に、レスパイトを目的とした利用も受け入れています。 ・土曜日に不定期でイベント開所を行っています。利用児だけでなくご家族で参加していただくことで、家族でふれあいながら楽しい時間を過ごしていただいています。（同時に保護者交流会も行っています） 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブの観点から、希望が丘児童クラブへ行き、遊びを通して様々な子と触れ合える機会を作っています。この交流によって、希望の丘の利用児だけでなく、希望が丘児童クラブの利用児の学びや成長にもつながっています。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・昴さんが運営する『売店 すばるん』へお買い物に行きます。お店の方と触れ合いながら、決められた金額の中で何が買いたいのか、何が買えるかを自分で考えて購入します。購入したものは、その日のおやつとして食べます。 ・希望が丘ふれあいセンター合同の避難訓練を行います。実際の震災に備え、避難方法や備蓄品の確認なども行っています。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が受けたいと思う研修の資料提供をし、積極的に研修に参加できる機会を作っています。また、事業所運営に必要な研修も、外部研修や施設内研修によって受けられるようにしています。 ・保護者と小学校の了承を得て小学校へ出向き、利用児の参観や先生と支援についての話し合いをします。逆に療育の現場を見に来てもらい、検討会を行うこともあります。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児のご家族（兄弟児も含む）参加型のイベントや保護者交流会 年4～5回程度 ・季節の食材を使った放デイクッキング 週1回 ・避難訓練 年2回以上（内1回は総合訓練） 				<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの行事 ・地域のお店での買い物体験 ・お誕生日おめでとう（お誕生日の子の『やりたい！』を叶える日） 			